

全科協ニュース

おもな内容：◇新しい展示，市立名古屋科学館 ◇社教審博物館基準部会終る ◇特別展報告，科学技術館 ◇全科協「北から南から」千地万造 ◇明治初期の博物館施設，椎名仙卓 ◇質問コーナー，映像展示について ◇会員館員の紹介，室蘭市青少年科学館 ◇本会「機関誌」の原稿募集 ◇会員館員の出版物紹介(1)

【新しい展示】

開館10周年を迎えた市立名古屋科学館

市立名古屋科学館では，今秋11月1日で開館10周年を迎えることになり，本館8階「電力と原子力」展示室をはじめ，各階の展示品を更新，改修することになりました。その内容は，

◇9階「気象と防災」展示室，水の一生，消防のしくみ。◇8階「電力と原子力」展示室，原子のすがた，いろいろな原子核，核にひそむ力，核分裂の原理，軽水型原子力発電所，高速増殖炉，原子力発電の現状，原子力船「むつ」，ラジオアイソトープのはたらきと利用，原子力利用の未来，核融合とプラズマ，みなさんの家庭・工場へ電気がくるまで，エネルギーの大動脈，郊外にある大変電所と送電線，おもな電線，揚水式水力発電所，新しい火力発電所，変圧器のしくみとはたらき，都市の配電，照明コーナー，モータのはたらき，給電のしくみなど。◇7階「放送と通信」展示室テレビスタジオ，電話のつながるしくみ。◇4階「化学と熱」展示室，ガスプラント。◇3階「交通の科学」展示室，自動車関係展示品多数，リニアモーターカー。◇1階「最新の科学」展示室，国際通信のしくみ，新しい製鉄所。◇地下1階「楽しい実験室」展示室，各種テスト装置，などですが，中心は設置以来8年を経過した「電力と原子力」展示品の更新です。

原子炉あるいは原子力発電所は，高速増殖炉を除いて，その最初の実用化以来，原理面では著しい発展はありませんが，核融合反応は，現在の原子力発電がかかえている諸問題を一きょに解決するものとして，各国で精力的に研究されています。

また，核分裂反応を含めた原子の世界の種々の現象や原理は，単に原子力といったエネルギー面からだけではなく，精緻(ち)に組立てられている物理学の世界を理解

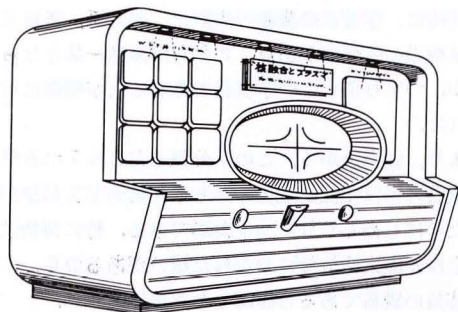
するための鍵でもあります。そのため，当館では応用面だけでなく，基礎的現象，理論を説明する展示品にも相当な力をそそいでいます。

本来，原子の世界は，人間には直接感知できないので，展示品は必然的に現象あるいは実体の拡大疑似模型となっているものが多くなります。

しかし，単に疑似模型といってもでき得るかぎりリアルな印象を受けるように工夫しており，また，最近のエレクトロニクスの成果である発光ダイオードなども随所に利用されています。

核融合反応のためのプラズマ発生装置は，つぎつぎと新しい方式が考案されていますが，磁気によって高温のプラズマを閉じ込める様子は，一般にはなかなか見る機会がありませんので科学技術の最先端ともいえるべき，プラズマ発生装置の縮小実物模型を製作し，展示することは意義あることと思われます。

今回，特に名古屋大学プラズマ研究所の協力により，実際にミラー磁場，カusp磁場，直線磁場と，磁場なしの4つの場合について，ネオンガスを用いてプラズマの挙動を観察できるようにしました。その際，考慮された



「核融合とプラズマ」展示品スケッチ

条件はつぎのようなことです。

① 迫力ある光の明るさがあること。② 光の色は、不純物の混入していない美しいものであること。③ 磁場による変化が明らかにわかるように磁場が一定以上の強さであること。④ 展示効果を良くするため、プラズマの大きなものを考えること。⑤ プラズマが磁場コイルのため、見えなくなる部分を出来るだけ少なくすることなど。

さらに、具体的な仕様として、④ 磁場の形の変換は切替スイッチによる、⑤ 磁場コイルの冷却は空冷とする、

⑥ ガスはネオンが適当(色がよい)、⑦ プラズマの境界を明らかにするためリミタをつける、⑧ 放電を安定にするため、電極はブラシカソードを用いる、⑨ ガラス製放電管はベーキング後にガスを封入する、⑩ 電極は交換可能とする、⑪ 放電管の寿命のため、ガス純化用ポンプをつける。ことなどが定められました。

説明パネルなどを加えたこの「プラズマの挙動を観察できる」展示品の外観はスケッチのようになります。

(技術課 三輪 克)

社 教 審 博 物 館 基 準 部 会 終 る

国立科学博物館 鶴田 総一郎

前号で中間段階を報告しましたが、その後の討議も進み、10月上旬最終部会で原案をまとめて、文部省社会教育局の方へ提出しました。同局では、図書館部会その他と歩調を合わせた答申に、一部事務的な修正をした上で社教審の社会教育施設分科会の方へ提出する予定です。

最終報告にまとまる段階で、はっきりした特徴とでもいうものを2, 3 列挙してみますと、次のようになります。

① 当初、館種別基準が実質的に中心となると考えていたものが、実際にはほとんど共通基準でまとめられたこと。

討議過程では、総論はほどほどにして、館種別各論で十分に、それらの特徴を発揮できるような望ましい基準とし、総論は、これらのうち共通にくれるものになる程度と考えられていた。ところが、最終段階で館種別グループの基準案を横に並べて対比したところ、意外にも(あるいは当然ながら)資料分野別を除く他はほとんど共通事項で、字句の表現に留意すればほとんど全部に共通できることを発見した次第である。これには、各グループの専門家達も、気負いこんだ拳のおろしように戸惑ったくらいである。

② 学芸員がやはり問題の中核であることが確認されると同時に、学芸員の職務の内訳に、研究系、教育系および技術系の3分野があり、これらが渾然一体となった働きが、つまり望ましい学芸員であることが明確に打ち出された。

つまり、従来とかく、この3分野のどれか1つを学芸員の業務乃至は主流と主張しがちな主観的学芸員論が多かったのにしめくくりをつけた形である。特に博物館技術がとかく職人的地位におかれた嫌いがあるのを、本来の学芸員の職務であると確認した意義は大きい。

③ 動植物園、水族館等における基準は、それぞれの

協会、団体等で期待するそれを原則としてそのまま採用した。これは、これらの館団が一般に博物館法による博物館の枠よりは遙かに広い、あるいは異質の内容もしくは使命を持っている場合が多いので、それらの中で特に教育的役割を強調する場合をこの枠でということ、豪も一般的にこれらの館園を拘束するものではないという意味である。

④ 地域総合博物館が今後差し当って最も公立博物館としては望ましい館種の一つであることが強調された。

これは、基準そのものの中には一言もうたっていないが、我国の博物館の整備方向としては、県立段階、市町村段階の、それぞれ対象地域に密着した地域性を踏まえ、地域の特性に立脚した、つまり人間を考え直す博物館を望むべきだということである。これは基準に関する通達、行政指導等の段階で考慮される筈である。

◇ 会 員 館 園 消 息 ◇

【新入会】鳥取県立博物館館長西本真一 ☎680 鳥取市東町2—124, 電話0857—24—1621, 内藤記念くすり資料館館長内藤豊次 ☎483 岐阜県羽島郡川島町, 電話058689—3111 (内線301), 宮崎大学農学部農業博物館館長外山信男 ☎880 宮崎市船塚町110, 電話0985—3—2141, 斎藤報恩会博物館館長斎藤養之助 ☎980 仙台市本町2—20—1, 電話0222—22—4777, 伊良湖自然科学博物館館長伊藤務 ☎441—36 愛知県渥美郡渥美町大字伊良湖字宮下3000—65, 電話05313—5—6631(購読会員) 和鋼記念館 ☎692 島根県安来市安来町881

【休館】明石市立天文科学館では、来る12月18日から来年2月末日まで、館内改装のため休館します。

特別展 告

ワンパクフェスティバル ——スタッフのたわごと——

科学技術館

72年8月9日～13日の5日間、科学技術館としては初めての試みであるチビッ子対象のフェスティバルが開催されました。趣旨は将来を担う子供達が、自然への理解を深め、かつ遊びの中から、自らの創造性を発見しよう、というものでした。多数の公的機関、団体、メーカー、業者等がこの趣旨に賛同され、多大な協力をいただき、5日間でおおよそ2万人の入場者を動員することができました。筆者もこの企画運営のスタッフのひとりであったので、立案までの裏話、会期中の模様など、ざくばらんなところを報告したいと思います。



まず実施の正式決定が諸々の理由で遅れ、会期4か月前であったため、スタッフの忙しさは格別でした。4か月前といえば、普通は、すでに設計図面の最終検討に入っているのが常識です。ところが何と会期の10日前ようやく設計終了にこぎつける、というきわどいものでした。普通ならば、制作業者はまず10日たらずでやってくれ、などというハレンチな要求などきき入れてくれはしません。施行担当者が、よほどわれわれスタッフの苦悶ぶりをみて気の毒に思ったのでしょうか、出す要求をすべて汲み入れてくれ、なおかつ一週間で仕上げてしまったのです。にもかかわらず、その内装と設備は、来場者を始め、協力団体、出品者などから大変なおほめの言葉をいただきました。われわれは今、その業者や設計者に足を向けて寝ることはできないところです。その費用は、おおよそ2,600㎡で270万円、1㎡当たり2,700円を割るものでした。

宣伝・広報はあらゆる手段を講じました。特に、主要な大団地へのビラ入れは大変でした。真夏の炎天下、関係スタッフの男性ほとんどが、新聞配達員よろしく各家庭の郵便受けにビラを配ってまわったのです。われわれはこうしたこまかい努力がきっと実を結ぶものと確信していました。ところがです。会期中とったアンケートの結果は、このビラを見て知ったという人1.1%、何と15位、いや下から3位というみじめなものだったのです。

開会式はにぎやかでした。あくまでも子供本位にとエライ方々の挨拶は全部省略。そのかわり、各コーナーの責任者が自分のコーナーのPRを行なう、というものでした。

会期中の運営で一番苦労したのはやはり生物、動物の世話です。今回は自然への理解を深めさせようと、「めづらしい動物のくに」「ワンパク牧場」「おさかないっ

ぱい広場」という3つのコーナーで、生き物を扱ってみました。

もちろん、それぞれ動物たちを貸して下さったところから担当者がきて面倒をみてくれましたが、何しろ当館職員は、普段生物を扱っていないせいから、てんやわんやでした。ニシキゴイの稚魚3万匹のうちの死亡数を減らそうと、日夜奮闘した職員、子供をのせたボニーをつれて館内めぐりをくり返し、グロッキーになった職員、トカゲやマングースのえさであるニワトリの頭を目をそむけて運ぶ職員、泣きたいような気持であつたろうと想像できるのです。ただひとつスタッフをよろこばせたのは、グリーンビットパイパーという猛毒蛇の子供が生れたことです。ほんの10cmぐらいの体にもかかわらず、頭はすでに親ゆずりの無気味な格好をしているのにはおどろきました。あわてて金網の目をふさいで逃走を防止し終ったのは夜中でした。こうしてみると、毎日夜、動物園、水族館等で生物を扱っている博物館の職員がいかに苦労されているかがしのばれると同時に、もうこりごりという気持と、もう一度やってみたいという気持が交錯するところでした。

全体を通じての珍現象をひろってみると、まず、5日間の天気あまりよすぎたことです。当時の海山は相当な混雑であったことを、テレビや新聞が報じていたところを見ると、入場者が思ったより少なかった理由をそれにこじつけようとする人がでるのも同情できるような気がします。つぎに入場者の年齢がわれわれの予想よりかなり低かったことです。つまり両親に連れられてきたチビッ子達は、われわれから見ると、チビッ子予備軍といったところでした。その理由は今後内容、PR方法等について分析しておかねばならないところだろ 《次頁へ》

全科協“北から南から”

学芸員に夢を

大阪市立自然科学博物館長 千地万造

私が博物館の学芸員になった15年まえとはちがって、近年では各地に県立クラスの博物館が建設され、今後も数多くの大小博物館がつくられる予定であるときいています。そこに働く学芸員もかなりの数に達しました。わが国ではいくつかの例外をのぞけば、大部分の博物館は戦後にできたもので、博物館が社会の中で十分理解されていないのが現状のようです。学校教育においてすら、博物館を修学旅行で見物するところぐらいにしか考えていないようで、これは博物館の側の姿勢にも問題がありましようがまた一方、教員養成大学のカリキュラムにも大いに問題があるようです。今回はこれらのことにはふれないことにしますが、このような状態ですから、そこに働く学芸員の苦労は大へんなものです。

まず第一に待遇の問題があります。私立の場合は勿論ですが公立博物館の場合でも、各自治体によって待遇はまちまちです。教育委員会所管であるところから、小・中・高校の先生をもって学芸員に当てている場合もあれば教育委員会事務局の行政職として遇しているところ、あるいは研究職にしているところもあります。前者の場合は数年を経ずして学校の現場へ帰ってゆくことが多く、学芸員は腰を落ちつけて館独自の研究・収集・教育活動をすることも出来ず、学校教育の補助機関になってしまう傾向がなきにしもあらずということです。後二者の場合は学芸員をライフ・ワークとできるにしても、他の職場との人事交流がないために行政職的なライン制の職制では昇進のポストがありません。悪く言えば飼殺し的存在になってしまうことがあり、館内に沈滞ムードが生じてくるおそれがあります。博物館は社会教育機関であるという法の規定にもかかわらず、博物館の本来の性格は研究機関としての側面を強く持っています。そこに働く学芸員は学校教員ではなく、あくまでも専門家でなければなりません。大学の先生が、研究者であると同時に学生に対して専門的な教育をするのと同様、学芸員はそれぞれの専攻分野の研究と社会教育的活動を行うものであって、研究職として位置づけると共に、ライン制の職制ではなく、スタッフ制によって、経験と業績とに応じたポストを与えるようにしなければなりません。

第2に博物館における研究条件の悪さの問題がありま

す。博物館をガラクタの保管陳列所、あるいは地域における学校の共同標本室と考えるならいざしらず、およそ社会教育機関として生き生きとした市民との交流を博物館に求めるならば、展示や普及教育活動の支えとなるのが、学芸員の研究活動・研究成果でなければなりません。研究は大学にまかせておいて、その結果だけをうけ取りするところであってはいけません。博物館の学芸員が研究しなくてはならない理由は、博物館でなければできないこと、あるいは博物館で行う方がより適切な研究テーマがあること、学芸員の研究者としての創造的資質が博物館の行う社会教育には不可欠の要素となることなどの他に、学芸員を志す人たちは、そのほとんどが、各自の専攻分野の学問・研究に生きがいをもってのことです。現在の博物館の研究条件はあまりにも劣悪といわねばなりません。研究設備・文献・旅費すべてがあまりにも少なく、学芸員の人員の不足は研究のための時間を犠牲にしないで館の運営が成立しない状態です。大学や国立の博物館の研究者はそれぞれの機関の予算として研究費があり、それに加えて、文部省科学研究費補助金が交付されていますが、国立以外の博物館学芸員はこの交付申請をする資格が与えられておらず、海外留学あるいは研修の道もありません。

数を挙げればいくらでも問題がありますが、これらはわが国における博物館の後進性に根ざしているのだと思われます。学芸員という仕事の将来に夢を持つことが出来るようにするには、待遇、研究条件の改善、人員・予算の増額が急務であり、それには各自治体段階で解決しなければならないものも多いことは言うまでもありませんが、より大きな観点から、全科協のような組織が解決に努力し、あるいは解決へのバックアップをする必要があります。小さなことでも、当面出来そうなことから、具体的な成果を一つ一つ積み上げて欲しいものです。

～ 次回は貴方が指名されるかも知れません ～

このコーナーは、全科協会員館園職員の皆様から、リレー式でご寄稿いただくコーナーです。ご寄稿になった方は次の寄稿者をご指名になる権利があります。指名された方は、随筆、書評、ご意見何でもご寄稿下さい。ご寄稿者のプロフィールなど、身近の方へ書き添えていただいて下さい。できるだけ、ご寄稿者の写真を同封していただきたいと思います。

《3頁から》 うと思われます。

こうしてドタバタのうちに終ったフェスティバルですが、一番の収穫と思われるのは、職員の自主企画にとり

くんだきびしい経験とそれから生じたわずかな自信ではないだろうかと思ひます。もっともこれが一番の皮肉なことではあるのですが。 (展示課 山田英穂)

明治初期の博物館施設

——学制 100 年にちなんで——

国立科学博物館 椎名仙卓

今年は明治 5 年から数えて 100 年に当たります。わが国の近代教育の基礎を築いた「学制」が發布されて「教育 100 年」、新橋・横浜間に始めて鉄道が開通して「鉄道 100 年」、太政官布告で明治 5 年 12 月 3 日が明治 6 年 1 月 1 日となって「太陽暦制定 100 年」等と、目立った記念行事が挙げられています。

博物館施設は、明治になって新たに西洋思想が導入されて、近代博物館の発達を急速に促しましたが、すでに 100 年に達したのも、数年で 100 年を迎えようとするいくつかの館があります。これらの施設を簡単に紹介して見ましょう。以下文体の変ることをご了承願います。

国立の施設としては、明治 5 年 3 月 10 日「文部省博物館」が湯島旧聖堂大成殿において開館している。この文部省博物館は、ウィーン万国博覧会との関係もあって、翌 6 年には太政官所轄の「博覧会事務局」に合併されたが、明治 8 年には再び分離して内務省と文部省所管の二つの別々の博物館に分かれた。内務省所轄の博物館は、美術・歴史資料を中心として現在の東京国立博物館となり、文部省所轄博物館の方は、自然史、理工学の資料を主にして国立科学博物館として引継がれている。前者の東京国立博物館は、明治 5 年大成殿で開館した時を起点としており、本年をもって 100 年を迎えたので特別展「琳派」等の記念行事を開催している。後者の国立科学博物館は、学校教育と深い関連もあって明治 10 年に「教育博物館」と改称され、再出発した年を創立年としているので、昭和 52 年が 100 年となる。現在 100 年史編集等の記念事業を計画中である。

地方の博物館では、明治 4 年北海道開拓使によって札幌偕楽園内に開設された「札幌博物場」が 100 年を経過した。この博物館は更に明治 8 年になって東京芝公園内

にも出張所仮博物場を設置して、北海道の天産物や開拓に関する資料を展示して一般の観覧に供している。その後札幌農学校の博物場と合併し、現在北海道大学農学部付属博物館として、農学部の附属植物園内にある。次に同じ開拓使によって設置されたものに「函館博物場」が挙げられる。明治 5 年函館山之上町に北海道の物産を主にして公開され、のち函館公園内に新築移転して現在の市立函館博物館の前身となる。

府県立で設置されたものには、明治 7 年に大阪橋詰町で公開された「博物場」があり、美術、工芸、動植物の資料を展示していた。その後明治 11 年になって北区中之島に教育者の参考に供するために「教育博物館」が開館している。大阪以外では、明治 8 年京都河原町通りに「博物館」、明治 9 年に石川県金沢公園内に「金沢博物館」、明治 10 年に秋田中谷地町に「勧業博物館」、明治 11 年には広島中町に「博物館」が設置されている。これ等の博物館施設は「其物品頗ル多シト雖モ皆均シク勸業ノ旨意ニ出テ或ハ博覧会ヲ転シテ博物館ト為セン者タルヲ以テ其性質効用ノ如キハ自ラ単ニ學術上ニ関スル者ト同一視ス可カラサルモノアリ」と記されており、大阪府で設置した博物館とは多少趣を異にしている。しかし、これ等府県で設置した博物館施設は、経済的な理由で廃止されたり、勸業場へ合併されたりして、現在まで続いているものはない。

明治草創期の博物館施設は、殖産興業のため、或は学術振興のため設立されて、公衆が知識を吸収する場として書籍館（図書館）と同様に、近代国家を築き上げる一翼になってきた。それからはや 100 年を経過し、その施設数も 1 千に達した。しかし、近代博物館として規模内容共に著しく貧弱で、有名無実なものもすくなくはない。これらの施設を公衆のなかにとけこんだ博物館として築き上げるためには、博物館人の叡智と努力によらねばならないであろう。

【質問コーナー】

見学者が押ボタンなどにより、いつでも自由に映画フィルム（映像）などが見られるような装置を展示したいと思いますが、どんな方法で行うのがよいか、具体的に教えてください。（一読者）

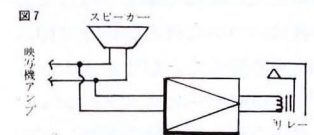
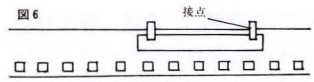
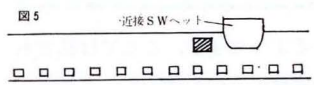
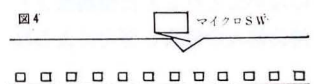
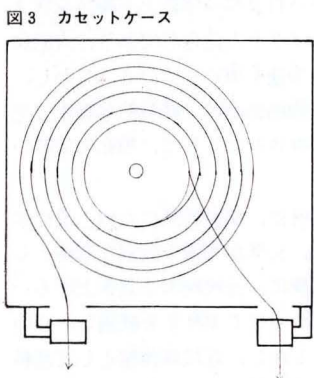
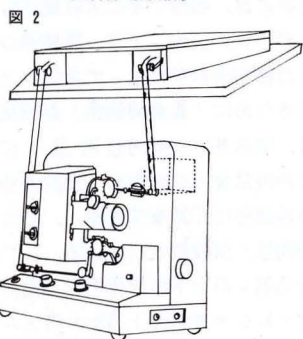
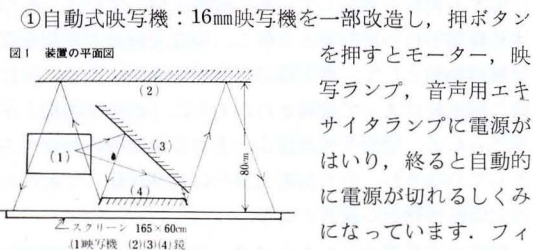
【回答】 現在ではつぎの 3 つの方法が考えられ、いずれも一長一短があるようです。

1. 8mm映写機を使う方法
2. 16mm映写機を使う方法
3. テレビを使う方法

この中で 1. が最もキャリアがあるようですし、簡易なも

のがかなり市販されているようですが、ここでは私どもの館で最近設置した 2. の装置について説明し、ご参考に供します。私どもがこの方法を採用したのは、何よりも画面が大きくとれるという利点に着目したためです。見せるフィルムは万国博の開会式の映画を編集し直して製作した 5 分もので、見学者はいつでも自由に自分で押ボタンを押すことによって映画を見ることができます。この装置はベル・ハウエル神奈川サービスステーションのゾナーという会社が、自社の 16mm 映写機を改造して作ったもので、神奈川県内ですでに同社の製作品が 3 か所ほど展示されているようです。装置は図 1 のように、ポ

ックス状の小さい室の中にセットしてあり、①自動式映写機、②ミラーによる光学系、③スクリーンの3つの部分からなります(図1)。



d. スピーカーの出力を利用し、音声信号がなくなると、チャージされた音声電流によって停止のリレーが働

らくようにする(図7)。

このうち a. はフィルムの切りこみの部分が切れやすく、b. は接点が常時フィルムに接触し膜面を傷つけやすいという欠点があります。この点 c. のほうがややコストが高いが問題が少ない。d. はフィルムのサウンドトラックの無信号時間があり長くはないものなら十分実用になり、この装置でもディスチャージの時定数を5秒ぐらいにして安定した動作を行います。(これ以外にもいろいろな方法があると思います。もっと安価で確実な方法があったら教えてください)

②ミラーによる光学系：狭い場所で距離をかせぐためのもので、問題はない(図1)。

③スクリーン：室内照明のもとで見せるので、白いスクリーンに投映することができないので、特殊の合成樹脂で作られたリアスクリーンを使い、内部の散乱を利用して映像が見えるようにしてあります。この装置ではスクリーンの大きさは、165cm×60cm(シネスコ)で、鮮明に見える角度はやや制限がありますが、この範囲内ならまずまずと思います。

(神奈川県立青少年センター 展示課 石川光則)

【参考】「写真工業」'72年9月号(写真工業出版社、東京都千代田区神田神保町1-65、電話03-291-4395発行)31~35頁に、宮寺啓之氏(横浜シネマ現像所技師長)が、「新しい時代をむかえた8ミリ映画」と題して、最近再認識されている8mmについて、フィルムベースの開発、EVRとの利点の比較などと共に、カートリッジ映写機数種についても述べています。一読される必要があると思います。

この記事についてなにかご質問ご意見などありましたら編集部の方へどうぞ。8mmやテレビを使う方法については調査の上追って掲載する予定です。

関連団体の動向

◆去る7月22日に開館した伊丹市立博物館(館長 藤田 勲、☎664 兵庫県伊丹市千僧1-1、☎0727-83-0528)で、解説目録第1号「伊丹市立博物館」を発行、開館経過、開館記念展「伊丹の自然と歴史」解説等を集録しています。B5版20頁、7月発行。

◆千葉県博物館協会(会長 下津谷達男、事務局 ☎275 習志野市谷津町3-198、谷津遊園内)では、機関誌「MUSEUM ちば」創刊号を発行、会長の発刊のことは他、研究発表要旨、博物館人・資料・図書の紹介、会報等を掲載しています。B5版30頁、発行日9月15日。

◆鞍馬山自然科学博物館(☎601-11 京都市左京区鞍馬本町1074、鞍馬弘教総本山鞍馬寺内 ☎075-741-2368)では、今回完工した霊宝殿の1階を展示室として公開しました。展示は、鳥獣、岩石、陸貝、昆虫、植物、きのこの各コーナーと鞍馬山の地形となっています。

会 員 館 園 の 紹 介

室蘭市青少年科学館

(Muroran City Youth Science Hall)

室蘭市本町2丁目2番1号 ☎ 051 電話0143—(2)
—1058 (休館日)月曜・祝祭日の翌日
昭和38年4月1日開館、鉄筋コンクリート3階建、
建物面積延3,002㎡(内展示室1,392㎡)、敷地面積
6,290㎡(内野草園927㎡)

青少年科学館は現在道内6市に設置されているが、当館はその第1号館として昭和38年に、青少年の科学教育と、文化の向上発展に資することを目的として開館されました。

施設の内容は科学展示室、温室、野草園、プラネタリウム、実験室によって構成され、特に展示室に力を注ぎ館長以下13名の職員(温室嘱託2名を含む)ならびに4月～9月中3名の臨時職員を加え運営にあたっています。道内で最初の科学館なので苦労や、失敗を重ねながら、本州先進館の指導をおおぐ一方、道内科学館で結成した北海道青少年科学館協議会の館長会議、職員研修会等を通じ、情報交換、技術研修を行い、相互に研さん向上を計っています。

科学館展示室の性格上、定期的展示更新を強く要望されていますが、市費単独では大規模な更新は困難で、道内各館と共に、道に対する展示更新補助の陳情を続ける一方、展示品の自作に力を入れています。

これに際しましては、建設時に、工作学習指導用に設置した60㎡の工作室と、木工、金工、溶接等の機械を利用し展示品の製作、修繕、模様替等に重宝しております。

地方都市の館としては、情報、資料、アイデアの不足、部品の入手難、専門技術能力の不足等多くの問題をかかえながらも、職員の創意工夫によって切り抜けようと努力している現状です。

実験室は職員1名助手1名が担当し、青少年科学クラブ、夏休科学クラブ、母親科学クラブの3クラブを開講しています。青少年科学クラブは、市内小学校5年～中学校2年生420名によって組織されていて、土、日曜日を実験日とし、さらに夏休みには天文、模型、海藻等7科目を設け、野外学習等によって、生きた科学学習の習得に力を入れています。

母親科学クラブは、昭和38年8月、母親の科学知識の向上を目的に、社会教育学級、学校を通じて募集し結成されましたが、非常に好評で、毎年5月より3月迄11か月間定期的に実験学習を行い、今年も80名の家庭の主婦が年18回1日2時間実験をしています。



館正面(西北側よりのぞむ)



野草園より館裏(南側)をのぞむ

科学クラブの運営のうち、青少年科学クラブは室蘭市教研、理科部会の教諭18名が指導にあたり、母親科学クラブは北海道電力株式会社の大きな協力を得ています。

室蘭市は支笏洞爺国立公園のほぼ中央に位置していることもあって、修学旅行、見学旅行の団体が多く、当館全入館者の約半数が団体で、昭和46年度は、526校、53,282名を数えています。その約40%が6月に集中している現状です。

なお、実験室は鳴海由次郎・他1、プラネタリウムは佐々木司郎、温室は寺島三征・他2、展示は大柴惣寿・他1が主として担当しています。

会員館園11・12・1月の特別展・特別行事

- ◆秋の特別展示会、鳳来寺山自然科学博物館(11・1～25)
- ◆外国郵便の100年展、通信博物館(11・7～12・10)
- ◆郵便児童画展、同前(12・13～12・28)
- ◆学制発布100年教育資料展、佐賀県立博物館(12・2～1・18)
- ◆パネル展、産業安全技術館(12・10～1・15)
- ◆第16回愛知県学生科学賞作品展、市立名古屋科学館(11・18～19)
- ◆おしば展、山形県立博物館(11・31まで)
- ◆鉄道100年特別展、交通博物館(11・26まで)

会員館園の出版物紹介 (1)

◇昭和47年度事業アンケートでご回答のあった順にご紹介します。◇館園名、印刷物名④は館園の案内、⑤は展示資料等の解説、テキスト類、⑥は研究報告、⑦はニュース、⑧はその他ポスター等、(発行昭和年月または発行回数)、大きさ、頁数、価格(記入のないものは無償)の順です。

佐賀県立博物館④博物館案内(47・3)4ツ切、⑤桃山江戸美術名作展(45・10)B5、85P、400円：日本古美術展(46・9)B5、30P、150円：明治大正昭和三代名作展(46・11)B4、40P、250円、⑥博物館年報(46・6)B5、76P、⑦博物館報(年6回)B5、8P。山形県立博物館⑦博物館ニュース(年6回)B5、6P。鳳来寺山自然科学博物館⑦鳳来寺山紀要。1～10集(27・7～44・10)B6、32～58P。熱川バナナ・ワニ園④案内パンフレット、改10版(46・10)特4ツ切、⑤栽培植物目録、改5版(47・1)B5、108P、⑥研究業績3号(47・3)B5、40P。川口市立児童文化センター④センターのもよおし、113号(47・7)B4、1P、⑧星

座めぐりープラネタリウム(47・7)B6、2P。観音崎自然博物館④観音崎の社会科(42・9)B5、27P。神奈川県立青少年センター④神奈川県立青少年センター(年1回)4ツ切、28P：青少年センターのあらし(46・8)B5、129P：利用のしおり(年1回)B6、17P：青少年センターのごあんない(年間10万部)B4、4ツ折⑥科学展示のしおり(年間65千部)A5、4P、アマチュア無線の手引き(年1,500部)B5、8P：中学2年生1日青少年センター(年2,500部)B5、62P：中学2年生実験、実習の手びき(年1,000部)B5、28P：電子顕微鏡室運営要綱(46年度)B5、3P：天文室のあらし(年5,000部)B5、2P：天文気象展示室のあらし(年2,000部)B5、2P、⑦県立青少年センターだより(年6回)B3、4P：プラネタリウム(月1回)A5、4P、⑧県立青少年センター(月1回)B2、催物ポスター、産業安全技術館④産業安全技術館あんない、A4、3ツ折、：パネルブック、A5、80P、100円、⑤産業安全技術館ニュース(年4回)、B5、4P、神戸国際港湾博物館⑧神戸国際港湾博物館(46・7)B6、32P、50円、⑨神戸国際港湾博物館だより(47・7・1)B5、4P。

本会“機関誌”の原稿募集

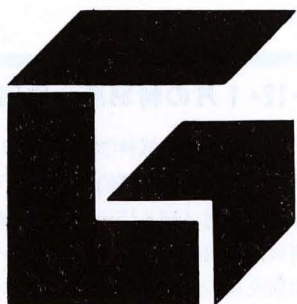
本会事業の一つとして“機関誌”の発行が実現されます。現在、その創刊号の原稿を募集しています。投稿の方法につきましては、各館園宛にすでに“投稿のしおり”が発送され到着していると思います。募集する原稿は、博物館資料の収集・展示・整理・保管、教育活動および管理運営に関する調査・研究報告、総説、記事などで、何れも原著であることを必要とします。ただし、

資料の調査研究であっても、たとえば考古学会、動物学会等の専門誌に掲載されるのが適当なものは除きます。創刊号の原稿の締切は12月20日です。B5版で、当分の間年1回発行することになっています。“投稿のしおり”をよくご覧の上、ぜひ投稿されるようおすすめします。“投稿のしおり”が必要な方は、本会事務局(所在地、電話は1頁タイトル内参照)へご請求下さい。

【あとがき】Vol.2もこの号でおわり、次号からはVol.3となります。この号に掲載する予定であった博物館職員講習の報告ほか1・2編を紙面の都合で次号以後に送りました。特別展などご苦労をされていることと思います。今回のワンパクフェスティバルのような裏話は皆さんの望まれている情報と思います。各館園からご寄稿をお待ちしています。

事務局よりお願い

過日、本会の会員名簿作成のため、原稿をお送りいただくよう用紙を同封してお願い致しましたが、まだご返事のない館園があります。会員の方々からも名簿作成が強く望まれています。ご回答未着の館園には、再度用紙を同封しましたのでぜひご回答下さるようお願いいたします。



GOOD DESIGNの……

GOOD QUALITYの……

GOOD WILLの……

(株) 芸宣は《創造》《品質》《善意》を
モットーとするディスプレイ企業です。

株式会社
芸宣
ディスプレイ・インテリア